

部活マッチングアプリ、かゆみ抑えるシャツ… 神大生が新事業提案



「起業部」部員がビジネスプランを発表したイベント。起業した卒業生とのトークセッションもあった＝神戸大

「起業部」イベント

スタートアップ（新興企業）の創出を目的に、学生らがビジネスモデルを提案する神戸大学（神戸市灘区）の「起業部」によるイベントが同大であった。起業家の道に進んだ卒業生が参加して若者の挑戦を後押しする中、部員らが11チームに分かれて練りに練った事業の構想を披露した。

チームごとにビジネスプランを考える起業部は、創部4年目ながら、これまでにコンテストの全国大会で優勝するなど着実に実績を積み上げている。毎年開催するイベントは、プランの発表の場であると同時に、起業家や投資家との交流の

場でもある。

経営学部3年森下日菜子さん（20）らのチームは、神戸市での部活動の地域移行に伴い、大学生の指導者と中学生をつなぐマッチングアプリを提案した。競技や日時を選択して参加できる仕組みで、森下さんは「このモデルをフランチャイズ方式で全国に広げたい」と話した。

自分たちの悩みを原動力に、事業で解決を目指すチームもあった。アトピー性皮膚炎の原因菌の増殖を抑えるとされる緑茶の効能に着目し、緑茶染めのシャツを提案したチームは、全員が皮膚炎に苦しむ。当事者ならではの視点で「着るだけで手軽にかゆみを抑えられる」という製品の魅力をアピールした。

（森下陽介）